

刊夕日二十月一十

常磐每日新聞

定額一圓五角 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓
廣告料五圓以上 印刷費別
電話六三〇〇
發行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日印刷株式会社



覺者と 如來

真繼 雲山

佛教にいふ佛と、基督教にいふ神、乃至その他の宗教が信仰の對照とする神なるものとは、國語の相違に外ならぬものであつて、何と名づくるにせよ、その實體は一つだといふ説は如何にも尤もらしい萬人間の解釋ではあるが、佛教として其だ迷惑な説明である。

在なりといふものとすれば、佛教は佛を天の一角に想定しない点に於て、既に出發点を異にする。従つて他の宗教が祈りをその中心とするものとすれば、佛教は佛前に祈るものなりや否やについては、多くの註釋を要する。

ノート

料理の食べ方はよく運ばれた、肉類を一通り細かに切つて置いてそれから一つ、一つ食べますが、これは左から切つては食べ、又切つては食べるのが宜敷うございませう。

割居してゐられるものとは思はれない、その点から或る一つのものへの眺め方の相違と考へられぬではない若し有りとなれば、歸するところは一つに相違ないが佛教にいふ佛と、他の宗教にいふ神とは宗教としての人間の意識において、全然その本質を異にしてゐると思はれる。他の宗教が神を實

佛教にいふ佛とは、主觀的にいへば覺者である。自ら悟り、他を悟らしめその悟りを圓滿に行ふものを佛陀となすこと古今の通説である。客觀的にいへば佛とは如來のことである。如來とは如だけどもなく來だけどもなく、如と來との合一である。如とは「如し」で真理

高月會句抄

蕎 麥

暮れて行く峠の道や蕎麥の花
段畑に花蕎麥見へて遠湖かな
焼畑そば蒔き下す移住民
石狩の旅思ひ出すそはの花
蕎麥打ちて凱旋を待つ山家かな

城山 城山
彌生 彌生
秀峰

閣下が實相眞如界より、化相の娑婆世界に來生して下されたのが如來である。そこで如來とは何ぞやといふに、實相を身として假相を具備するものである。眞諦を本質として俗諦を姿とするものである。この意味からいへば、拙者も皆様もひとしく眞諦を本質として俗諦を姿としてゐるのであるから、矢張り如來様でなければならぬ筈であるのにそれが凡夫様であるのは一つ抜けてゐるからである。何が抜けてゐるかといへば覺が抜けてゐる自覺の代りに自ら迷ふてゐる故に、これを凡夫といふのである。

佛と凡夫との相違は、覺と迷だけの差である。如より來生して覺あるものが如來であり、如より來生して迷へるものが凡夫である。大無量壽經には「從如來生解法如々」とあり如より來生したゞけでは役立たぬ。如より來生して法の如く如を解したものが如來様であるぞと示されてゐるのがある。

主觀と客觀とは一つのせいの分料である。主觀としての自覺したる自分と客觀的な如來とが合一して別のものでなくなつたのが佛である。

【朝】ここの煮
【晝】こぼう こんにやく
【晩】はぜ 大根ふくめ煮

本體なくして、空そのものがやつて來ることは有り得ないが、如何に眞如といふ本體があつたればとてそれが活現して御入來下さらぬことには、人間世界に交渉はない。眞理の如く、眞理と少しも變らぬといふ眞如

旭硝子株式會社製品

赤菱印 板ガラス

菓子壘
硝子食器
其他各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)
仙臺市榮町(電話五九七番)

味覺の秋

骨ごとバリ／＼かじる
...小鳥のつけ焼...

中ではウマイのはアオジロ、スズメ...
御酒によし御飯によし——御家庭にも一度御試食を頂ます

鳥 菊
平町南町(電二八六)

看護婦急派の求めに應じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

高久病院

院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町田町 電話五一三番

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院

平町南町
電一七〇

二間か三間位の住み心地よい文化住宅
最初からお金が入らずに好きな場所へ好きな家が
十圓位の家賃を拂つて住んで居る中に五六年で自分の家となる方法
俸給生活者絶好の機會

月賦建築

(第一回申込受) 付三十月限
御希望者は至急御相談にお出下さい
平町南町十一番地廿三夜尊側
寶商事社 伊東 一

美味! 芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

院醫坂井

科人婦。科外
町田町平
番九五五話電

十二勇士に 記念品贈呈

廿四日の入營兵歡送迎會

平町では既報の通り廿四日午前十時から聚樂館に於いて恒例の入營兵歡送迎會を開催するが尙當日は平町當局を始め區長會、青年團、消防組、在郷軍人分會、愛國婦人會、平婦人會の各種團體から昨秋九月の滿洲事變突發以來滿洲上海の兩戦地を從横に馳驅皇軍の發威に決死の勇戦を續けて無事凱旋した平町出身の左記十三勇士に對し記念品として銀盃一ヶを贈る事となつた

高木光義(田町)片山八郎(紺屋町)佐藤武(立町)竹内正一(八幡小路)大竹榮一(久保町)緒方四郎(堂ノ前)小泉弘(南町)松本光次(立町)端正勝(五丁目)川上龍三郎(材木町)大井川和郎(久保町)阿部健(四丁目)兒山磐夫(十五丁目)以上

被害対策に 濱三郡一致協力

町村長と郡農會長會議

既報石城郡下農村今回の暴風雨被害は約十二萬圓と稱せられるが双葉、相馬の兩郡と共に濱通りが一致協力して被害対策を構する爲め

痴情?生活難?

母子心中の原因

依然解き難いナゾ

(昨報)哀れ當歳の幼児を道連れに田町安齊外科病院の一病室で淋しくネコイラス自殺を遂げた若き母親秋元ミイは何故

貸付金の 最高限度

大浦組合協議

既報石城郡大浦村信用組合

は出資額五百廿五口、組合員三百名に達したので創立第一回の總會を本日午後一時より同村第一小學校に於いて開會左記議案を附議する

- △總會議事細則設定の件
- △本年度に於ける借入額の最高限度決定の件△本年度に於ける一組合員に貸付し得べき最高限度決定の件△餘裕金預入先決定の件△信用評定委員選任の件

陪審員候補者

けふ廿名を決定

既報昭和八年度に於ける平町の陪審員候補者の抽籤は本日午前十時より町役場會議室に於いて佐々木、吉田(寅)花澤三町議立會のもとに執行されたが其の結果左記廿名が當籤した

佐川芳太郎(中町)堀江正直(番匠町)坂田藤助(二丁目)大谷久藏(三丁目)大谷直次郎(南町)森下庄吉(一丁目)野本龜吉(新川町)長谷川徳代(五反

木炭倉庫視察

宮城縣刈田郡木炭同業組合

秘めた彼の女の死因は徒らに

巷の話題

を賑はせてゐるだけで其の真相は誰れにも判らない山林關係某署の相當な官吏である夫と別居してゐても實姉の家に同居して相當な暮しを立て然も小金さへ貯へて居るとの噂から見ると生活難から

死の活中の作漁港

縣費補助爭奪 相手方折戸港も強硬 問題重大化する

長藤井徳市氏外五名の幹部の經營を視察すると来る廿五日來郡木炭倉庫

江名中の作の漁港修築案は昨年の縣會に於いて經費十七萬餘圓を投じて縣營工事として

着工する事となつたが同時に折戸部落港の修築案も決定されて居り國庫補助の關係上、中の作、折戸兩港兩漁港中その何れか一方は犠牲に供せらるゝ運命に陥つたので江名町當局は勿論漁業組合や部落民は地方の死活に關する重大問題として内務省の査定に深甚な注意を拂ふ一方、折戸側に對し

讓歩方を交渉したが折戸側の態度も頗る強硬で到底妥協の見込がない爲め江名側は遂に折戸港と飽まで競争せんとする決意を抱き此の程河野町長太漁業組合長等は出福縣當局に對して工事促進を陳情すると共に關係各方面に對し猛運動を開始した尙内務省では中の作港の修築

位置決定の爲め橋技手と同港に特派出張せしむる事に決定したが同技手は目下病臥中であり内務當局の査定は遅れるものと觀られる

米穀鑑定

事務の研究

平穀物検査所では本日午前十時より全管内の吏員を召集して米の鑑定並に事務の研究會を催した

金銀

高價買入致します!

御修繕は

技術に絶対自信を持つ弊店へ

ダイヤ堂

鈴木時計店

平驛前通り

江戸前料理 合巻

寄なべ はまなべ 鳥なべ
ちりなべ かきなべ

出前!迅速!

錦

水

電話四五四番

CAFE SEKAI

カラオケ

紅、そして青の灯の下に
美女のくむ緑酒を知る御身よ
さらば来り召せ
吾が世界のハレムへ。

六四

哀れ、海の犠牲

戻らぬ船と人

消息不明の船は五隻

遭難者實に五十一名

平署の調査

去る十四五兩日突如襲來した颱風に未曾有の大慘禍を蒙つた郡下小名濱、江名、四倉、豊間の各濱では其の後消防組、青年團、漁業組合等が全力を擧げて遭難漁船の救助作業に文字通り不眠不休の活動を續けてゐるが此の大慘禍の渦に捲かれて哀れ海底の藻屑と消え去つた犠牲者は平署當局が各方面の應援下に調査を進めて來た結果今廿二日に至り小名濱三名、江名拾六名、豊間拾四名、四倉拾八名、合計五拾一名、また行衛不明の發動機漁船は小名濱の第二明神丸、江名の喜榮丸及び清正丸、豊間の多福丸、四倉の四十八社丸の五隻と決定發表された尙判明した氏名左記の如くである

- △小名濱町同町中坪六八小 松徳松(○)同字八村澤安藏(○)字定西小林菊三郎(○)
- △江名町同町北町一〇七中 田喜三郎(○)南町八二内山庄助(○)同字四一黒川重太(○)同三四坂本西松(○)北町三一坂本松吉(○)
- △山形縣田川郡加茂町今 泉二八齊藤興作(○)同田澤勘之丞(○)同齊藤萬吉(○)同郡豊浦村字由良二九佐藤仁平治(○)同氏家豊次(○)
- △豊間村同村字下街八四四 家信之助(○)同字四家勝美(○)八幡五三四家龜次(○)同字一三遠藤繁太郎(○)

遺品を棺に納め

豊間村で施餓鬼

石城郡豊間村役場では本日午前十時より同地海岸に於て行衛不明の同村遠藤惣三郎所有多福丸(十九噸五十五馬力)の乗組員四家信之助以下十三名の施餓鬼を執行して遺品を故人の形身として棺に納め組合葬を以つて埋葬した

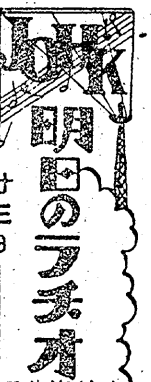
葉山御用邸

附近を徘徊

家を飛び出した

小名濱の精神病者

石城郡小名濱町字古港居住達雄弟青山達吉(○)は昨年來精神に異常を呈し自宅で保護監視中の者であつたが去月廿九日突然飛び出した儘行衛を晦して仕舞つた爲め家人の願出に依り平署で



今晚も明日も北西の風晴れたり曇つたり

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 口笛サキソホン獨奏
- 後七、三〇 講演「青年記 ねん日に際して青年團の實情を語る」大日本聯合青年團常任理事田澤義輔
- 後八、〇〇 運動競技「帝拳主催拳闘試合状況」日比谷公會堂より中継
- 後九、〇〇 フルトト合奏と獨唱岡村フルトトク
- 後九、三一 満洲より「双城堡に於ける戦闘と満鐵

- 吉(○)同六七針山寅松(○)
- 八幡町鈴木義五郎(○)
- 以上

風水害

農作物

平町では風水害農作物措置方法 措置方法 平役場が注意 願出た

愛犬家よ御注意!

無鑑札や無繫留を

野犬獲りに名を籍り

平署が一掃する方針

平町地方には此の數年來闊犬趣味が異常な發展振りを 見せてゲロテスクな面構へのブルドックや寧猛な土佐種、秋田種等の小馬程もあらうと思はれる闘犬専門の 犬が激増して居り殊に昨今の狩獵ゾーンに入つてからの愛犬熱は素晴らしい勢であるが此の愛犬熱の昂ま

派遺員「神代新一」 後九、四〇 全國ニュース 氣象通報、番組預告

明日の部

- 前九、三〇 (子供の時間) ハーモカ
- 前一〇、〇〇 宗教講話
- 前一〇、四〇 講演「神武天皇大和經略に關する戦績」陸軍歩兵中尉山邊誠一
- 後一、一〇 講演「江戸小説の大衆性」福岡女子専門學校校長鈴木暢幸
- 後五、五〇 映畫物語「三萬兩五十三次」辰巳狂兒 伴奏ミナト管絃團
- 後二、二〇 運動競技「早應ラグビー」試名状況
- 後六、〇〇 (子供の時間) お話と唱歌宮城縣縣生部北村小學校校長齊藤莊次郎
- 後六、三〇 講演「在仙四十年間の思ひ出」アネネイエム
- 後七、三〇 謠曲
- 後八、四〇 ラヂオドラマ「日本黄金狂時代」友田恭助外

奉公が厭

少店員家出

昨夜十二時四十六分平署着準急列車に乗つて居た店員風の青年を平署員が取調べると同人は宮城縣七ヶ北村字大澤生れ當時仙臺市新田町六七茶屋双物店事鈴木龍三郎方雇人高橋作三郎(○)假名で奉公が厭さに廿一日朝主家の金十六圓を持出し神奈川縣鎌倉の知人を頼つて逃走した事判明目下照會中

平職業紹介所報告

- △人を求める方
- △女中、三十才以下 尋卒 月六圓(平町某)
- △兒守、十二才 尋卒 給料面談(平町某)
- △女中、十八才 尋卒 月五圓(平町某)
- △出前持、二十才 尋卒 月五圓(平町某)
- △回職を求める方

中村齒科醫院

平町鍛冶町七



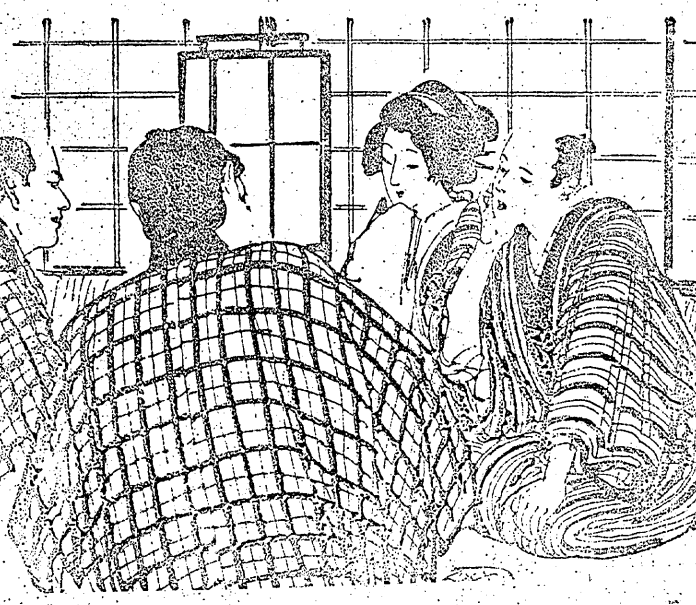
【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演 近藤紫雲畫

第二百六席 平手造酒

雛鶴又藏を欺く 雛鶴初め一同は又藏を寝かした儘そこを引取りました、何しろ六月の事故は關の聲を揚げて押し寄せ来て又藏の全身に止つてテウチ血を吸う、又藏かゆきに目を覺し

と障子を開いて内に入り又「ヤイ阿女そこにある客は山國の者が、又九十を越した老人か、汝等はグルになつて金を俺を騙まして取つたなア助けて置くことは出来ぬえ、それだけの返報をしてやる」



又「大そう蚊が居るぜ、此蟲等に一升五合ばかり血を吸はれてしまつたオヤ、誰も居ねえ、大分更けたやうだな、雛鶴の客は山國の者で老人だと云つたが、どんな奴か見てやらう、九十を越へる迄婆婆に居るとはムダな奴があるものだ」

此處を出て廊下傳ひに雛鶴の前に来て中の様子を窺ふと雛鶴の聲で 雛「ちよつと、留さん明日も遊んでおいで」 留「さう遊びことは出来ぬ金をなくなつた」

と留次郎をボカリ打つた 留「何をしやがるこの土鼠め」 柔馴しくとも若い者として火鉢にかけてあつた鐵瓶を取つたそれを見て雛鶴が 雛「留さんそんな物を持つて何をすの、此方へお出

でなさいよ」 又藏をつき除け留次郎の手を取つて廊下を飛出し、二階を駆け降りる又藏は追ひかけ様として廊下に出ると客の座敷から下げて行く臺の物に衝突してガラ／＼と夫が崩れると摺芋が廊下にこぼれ、それへ足を取られたからツルリと江りモンドリ打つて轉がりました、そこへ出て来た若衆が 若「まア親分お静かに願ひます、色町へ来て暴れるは不粹でございます」 又「何うせ俺は野暮だ、止めな」

さい、今土鼠に追ひかけられまして」 富「そいつは不思議な事を聞くものだ、もぐらもちが追ひかけるとは」 ひな「助五郎さんの子分でございます」 富「ウム又藏か彼奴は酒の上がよくねえ、よし／＼もう跡は云はずとも判つてゐる、此の若い人はお前の情夫で、又藏がふられたからそれを怒つて腕立てをしたものであらう、さりとて野暮な奴だな、その衝立の後に隠れてゐな」 ひな「有難うございます。留さん此方へお出で」

二人は衝立の後に忍ぶ所へ又藏が向ふ鉢巻をして片肌を説きてヒョロ／＼しながら追つて来たがこの座敷へ逃げ込んだと見て障子を開き 又「ヤイ、阿女、此方へ出る」 と云ひながら飛び込んだ その時に渡瀧の佐吉が 佐「汝は何だ、ウン土鼠の又か」 云はれて 又「これは何うも清瀧の兄さん、オヤ／＼勢力の兄貴も此處にゐなすつたか」 佐「大そうな勢ひだな向ふ鉢巻片肌脱ぎ親分の姐御に頼まれて澤庵を漬るやうな学装だ、一體何んでそんな姿をしてこ、へ踏込んだん又「へニははわけがござんす、それはねこの松屋の雛鶴は私の馴染でござんして今夜も遊びに来ると女は私の金を引流つて情夫とよぞ

Advertisement for 松村 院 (Matsumura In) medical clinic. Includes text: 淋病、皮膚病、婦人病、胃性、腸病、門專、院醫科、〇七一話電、町南平.

Advertisement for 大塚の靴 (Otsuka no Kutsu) shoes. Includes text: 斯界の權威!!!、大塚の靴、自製編上靴、學生靴、女學生半靴、紳士靴、弊店自慢の流行新形、大塚製靴部、電話七七番、平田町.

Advertisement for 靈効散 (Rei Kō San) medicine. Includes text: 胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥、松前家傳、靈効散(無効返)、ホントに北海道で出来た靈藥が着荷致しました、今迄のは福島市内で製藥したので兎角の批評がありました、今度のものは眞正のもので奏効確なものです、服用しなくては其の眞價が判りませんから、皆様見本品を差上げます、御遠慮なくいらつしやつて下さい、見本品でも二日間飲まれますから胃腸病に苦しむ方、惱病、心臓、痔疾の方は是非御試し下さい、グセにならず根治致します。小兒用の靈効散も出来ました。

Advertisement for 胃腸病妙藥 (Stomach and Intestine Miracle Medicine). Includes text: 昔ハ料理ニ必ズ「シ、茸」ヲ用タリ今ハアマリ使ハズ甚不都合ノ次第ナリ「シ、茸」ヲ煎ジ臥寝前ニ服用スレバ胃腸ヲ整ヘ便通正シク氣分爽ナリ諸病ヲ未然ニ防グ効能アリ人助ノ爲メ廣告ス此ノ秋ハ茸類ノ出ル時節ナレバ新茸程効能著シ各家庭ニテ百々位ツ、常備シ置ク事肝要ナリ

Advertisement for 星野時計店 (Hoshino Keikō-ten) watches. Includes text: 高價買入—金、銀、債券、安價販賣—時計と眼鏡、親切勉強—時計のお直し、平驛前通り、星野時計店.